

20101222第9回

第8章

- XPをどう開始/導入するか?
 - 本意を読み解くのが難解… 概念とたとえ話の境目がない気がする…
 - 「何を」「何に」「どのように」変えるかの話をしているように見える
 - これを読んで、XPを始めた人はスゴイ これだけでは本質がとらえにくい気がする
 - よくわからないので来年もういっかい…
- 開始
 - このプラクティスによって何がかわるのかをみんなで考えましょう演習
 - 始めるときにこれをやって、プラクティスをやる意味を明確にしておく
 - これをやることによって、プラクティスの意味を見失わないようにする
 - そのプラクティスはそのチームに何をもちますか?
 - チームで共有しておくのが大事、ということか
- プラクティスのマッピング
 - 「欠陥はめったにない」の欠陥って?
 - 「このような理想～」より前の文章は理想的な姿で、XPはそれを実現するためのもの、ということか
- 結論
 - 全体的に、とにかくよいからやってみなさい的な感じが漂っている
 - 第8章は、もう一度他の人も交えて読んでみたい

「インクリメンタル」「アジャイル」と「場当たり」

- イテレーションの中に計画があるかないか
 - 計画=大局
 - 着眼大局着手小局 (c)かわぐち
- お客様、ユーザからのフィードバックを受けつつ、優先順位をつけて対応していくこと
- 風に任せるか、風を読んでもるか、の違い
- お客様って?
 - BtoC
 - エンドユーザ?
 - 発注主?
- ソフトウェア開発は建築のメタファを取り入れるのに、なぜ「施主」って言わないの?

ふりかえり 来年は? 1/5から